

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		急傾斜地崩壊対策等事業		路河川名等		(急)東大塚	
事業毎の通番		6		市町村名		大町市	
事業目的		当箇所は金熊沢の右岸に位置し、勾配35°、最大高さ96mの急斜面で、保全対象として人家1戸、県道、地域防災計画記載の避難所である八坂中学校が存在する。斜面は砂混り礫質土の表土であり、風化侵食が進み小規模な崩壊が生じており、今後の豪雨や地震等により斜面が崩壊する危険性が高い。このため早急に対策を実施する必要がある。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等		急傾斜地法	
関連する事業、計画等							
保全対象・範囲 受益対象・範囲		保全対象: 人家1戸、県道舟場矢下線、八坂中学校【避難所】					
着手年度		平成28年度		事業期間		4年間	
完成年度(見込み)		平成31年度		費用対効果		11.3	
全体事業内容(主な工種)		防護柵工 L=90m		事業費(千円)		130,000	
年度事業内容(主な工種)		・地質調査 1式 ・地形測量 1式 ・詳細設計 1式		財源内訳(千円)		国庫 61,750 其他 6,500 県債 55,575 一般財源 6,175	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的) 施設整備による土砂災害特別警戒区域指定の解除					
		間接的効果(定量的・定性的)					
必要性		○人家戸数: 1戸 ○公共施設: 2施設 ○要配慮者利用施設の有無: 無 ○避難場所・避難路: 避難所有					評価
							B
重要性		○過去の災害履歴: 災害履歴地 ○交通遮断による地域経済への影響: 大 ○地域防災計画上の位置付け: 有					評価
							A
効率性		○費用対効果(B/C): 11.34 ○事業期間: 4年間 ○工法比較検討: 無					評価
							A
緊急性		○斜面の高さ: 平均高さ87m Hmax96m ○斜面平均勾配: 35° ○地質: 段丘堆積物 ○斜面形状: 遷急線					評価
		○植生: 不良 ○保全対象の位置: がけ下1戸					B
計画熟度		○事業情報の共有: 関係者以外にも周知 ○地域要望: 協力的である ○地域の合意形成: 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働: 防災体制の整備					評価
							A
部意見		保全対象に人家1戸、避難所である八坂中学校等がある。斜面は風化による浸食が進んでおり、早期に対策を行う必要がある。		行政改革課意見		勾配35°、高さ96mの急斜面が風化等により不安定な状況で、保全対象に人家、県道、避難所となる中学校があることから、重要性が認められる。	評価結果 総合評価
						○	A

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図



平面図



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



八坂中学校



斜面状況

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	金熊沢の右岸に位置し、勾配35°、最大高さ96mの急斜面で、保全対象として人家が1戸、県道、八坂中学校が存在し、地域防災計画記載の避難所である八坂中学校が土砂災害防止法の特別警戒区域に入っている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	例年市から要望が挙げられている。
③事業説明等の経緯	平成19年3月土砂法説明会開催。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	詳細設計時に配慮について検討の予定。
⑥地域活性化への影響と配慮	施設整備による特別警戒区域の解除により、付近の土地利用の活性化が期待される。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度
北緯: N 36° 30' 11"
東経: E 137° 30' 13"